

2009.MAY

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第6号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

旅を続けながら逸品釣具を探し歩いておりますが、その道中に欠かせないものが本です。飛行機や新幹線そして鈍行列車の揺れに身をまかせながら読めるという時間があるだけでも幸せです。旅の一冊は、自分の旅程を変えてしまうこともよくあります。子母沢寛の勝海舟を読みながら下氷川をうろついてしまったり、江戸城無血開城の大手門あたり、上野の彰義隊を見ると、靖国神社の大村益次郎を見に行き、北海道五稜郭では新撰組土方歳三の最期を感じるといきなり東京都日野へ墓参りしたり、……

もっと真面目に仕事やれ～！(´ 〇´) \(- -) バキッ! と言われそうですが私は病気のような旅ぐせがついています。

いつも一人ですので一人で寂しい食事をすることもありすし、釣り人と楽しい酒を飲むこともあります。言葉が通じない国に行くとその差が極端に大きくなります。だからこそ旅はやめられないです。昔読んだ「老人と海」を今読んでいます。「それをやりに俺が生まれてきた。そのことだけを考えればよい。」とヘミングウェーは言います。あ～あフロリダのキーウエストに行きたいなあ～。(´ 〇´) \(- -) バキッ!



Gear-Labができるまで。泣いた。笑った。感動した。(その6)

住んでいるところはホノルルのワイキキの中で全くお金がないのに古いけど良いアパートです。なんてたってベランダにプールがついています。

青雲の志を赤貧の衣に秘めて・・・と言えばカッコイイのですが、以前にフィリピンに住んでいる親友に送ったインスタントラーメンが惜しくて惜しくて後悔している私はなんとも情けない状態です。

アラワイ運河での魚釣りを食料にしないで既に一ヶ月です。毎日「THE SAKANA」と雑草しか食べられない私は身体の異常を感じていました。

ハワイ大学の空手道場生のクリスが空手着のまま私のアパートへやってきました。彼の空手着は日本名で「栗須」と私

がマジックで背中に大きく書いてやったのが始まりで道場生30人くらいに日本名を与えてやりました。

「先生、大学の仕事休んで大丈夫？」と見舞いにきてくれましたが、私は「THE SAKANA」を料理中です。「俺の貧乏は知ってるだろ？毎日この魚だけが自分の命の源なんだ。」

クリスは「ふ～ん。でもたまにはちゃんと食事しなきゃ。」と言ったとたんに私はキレました。それも日本語で。

「ばかたれが～！俺もステーキ喰いたい。チキンが喰いたい！」と大声ですが声がうわずってます。クリスはとても性格の良い青年です。そのままじっと座って、私がまずそうに「THE SAKANA」を食べるのを見てました。

「先生、ホノルル動物園に弱ったフラミンゴがいるよ。獲って食べたら？」

……？ ……。

「冗談はもういい。オマエ、帰れ。」

……。

「良い週末を。」 He said.

……。

その日の深夜に私はホノルル動物園の4メートルくらいのフェンスをよじ登っていました。

ここから先のお話は過激で動物愛護という観点からみますと悪事です。それを了承のうえご一読ください。

片手に琉球古武道のトンファーという櫂の木で作られた武器を持っています。アメリカに行く前に杖術と手裏剣(出刃包丁を投げる)とトンファーをエキジビションができるくらいに練習して行きました。四尺の棒を使う杖術は夢想流でしたが、他は独学の稽古です。出刃包丁を投げる手裏剣は近くの香椎宮の森の中で練習していましたが、宮司さんに見つかり怒られたこともしばしばです。トンファーはホノルルでポリスにも教えたことがあるくらいで彼らの金属でできているトンファーが使いづらかったので金切り鋸で切ってやったこともあります。そのポリスで教えていた武器を持って深夜のホノルル動物園に不法侵入です。

夜の動物園は怖いです。動物たちの雄叫びやイビキが混じっているのです。私は地を這うように歩き大きな鳥かごの柵へ進入しました。いましたフラミンゴの群れが。大半のフラミンゴがササササ～と音も立てずに左側に逃げていきます。ところが一匹だけ座ったまま私をじっと見えています。私は心の中で「やあ」と挨拶をしました。奴は「待っておりました」という顔をしています。(次ページに続く)

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



つづき いや本当にそんな顔で優しく私を見つめているのです。もしかしたら病魔に襲われていて逃げる元気も無かったのかもしれませんが。

私は近づくより左で首を持って、右手のトンファーで渾身の力でもって一撃でしめました。重たいフラミンゴを抱きかかえてフェンスを登るのはとても無理で私はフラミンゴの首を自分のベルトに通してフェンスを乗り越えました。

もう私は異常者の何者でもないでしょう。アラワイ運河沿いの道をピンクのフラミンゴを抱いた私が歩いています。帰宅してロビーを入ろうとすると、銃を持ったプエルトリカンセキュリティのおばちゃんがエレベーターの中に座っています。彼女がトイレに行くのをじっと待ってすかさず進入してやっと部屋に戻りました。

さて、深夜の料理スタートです。フラミンゴというのは大きいので料理が大変です。以前オアフ島中央部にあるワヒアウのU.S.ARMYの基地で空手を教えていたとき、サバイバルのナイフの使い方はかなり練習していたので助かりました。当時ベトナム戦争にロングレンジパトロール(ジャングルの中を斥候として情報を掴む殺し屋)として活躍していた教官がいます。とても民間では生きてゆけないだろうなという風貌の戦士です。猪や鹿の締め方、蛇や虫の蛾の食べ方、パラシュートを使った薫製や私が大好きな銃の分解掃除や実弾射撃訓練まで。アメリカ軍の正規銃アーマライトM-16は暗闇でも分解組立をするなど完全オタクです。

猪もなんでもそうなんです、大きな獲物は自分自身の体を獲物の中に入れていくくらいの感じでナイフを持てば結構うまくいきます。当然身体は血で汚れますが。(続く)

「落としギャフ」5月リリース

防波堤でのエギングやシーバス釣りでギャフやタモを持って移動するのはちょっと邪魔ですね。そこで5kg以内の魚なら簡単に引き上げられる機能的な落としギャフを開発しました。それもポケットに入るサイズのコンパクトタイプです。この開発のヒントは「鮎の友釣り」にありました。

ロープはUSA製のパワーロープで80kgまで大丈夫です。さてこれを持ってこの連休は大物を引き上げてきますね。

…………… その前に釣れたらいいなあ。(～～;))

「オキアミ太郎」「釣れる素」復活です。

昨年より販売停止していた「オキアミ太郎」がパワーアップして復活します。容量が半分になりましたがその分凝縮されたエキスになっております。喰い渋ったときなどその威力の発揮は歴然としてきます。是非お楽しみに。

また「釣れる素」も復活します。若干オキアミ色に変わっております。私はウキ釣りよりブッコミ釣りでの釣果差が大きくなるように思います。海を汚さないし、手も汚さない次世代コマセです。どうぞお楽しみに。(。^。^)

その鳥が病気にしていたのは知っていましたが、それよりも私の食欲の方が完璧に優先していましたので、オープンを使いながら料理して3日間で全部食べてしまいました。

しかし、また魚釣りでの魚料理が始まります。この魚料理の再開が私にとってはとんでもないプレッシャーでした。そうしながらも二週間くらい運河で魚釣りです。この生活はいつまで続くのだろうと考えたとたんに、またまたベットに潜りこみ一日中じっとしてました。

「帰ろう。日本に。両親に会いたい。友達に会いたい。」

大韓航空の帰りのチケットだけお守りのように大事に持っていたのでそう思ったとたんにホノルル空港まで数時間かかって歩きました。空港に着いたら「空港税2ドル」と言われたので持っていないと言うと中に入れてくれません。たまたま偶然にも空手道場生が空港で働いていたので彼に2ドルを借りて、いや頂いて飛行機に乗り込みました。

飛行機が飛び立つと機内食です。スチュアードスが「肉がいいか魚がいいか？」と愚問を私に言います。

「もちろん肉」と即答です。機内食が旨い。本当に旨い。

「おかわり」というと「無い」とあっさり切り捨てられましたが何でも良いので食べるものが欲しいというおかわりの機内食をいただきました。あ～っ。なんて幸せなんだろうとしみじみ感じながら。最後にコーヒーをいただきます。

私の頭の中には機内食は全て美味しいというDNAが刷り込みされたようです。今でも機内でコーヒーをいただくあの幸せ感がしっかりよみがえり本当に美味しいのです。

機内食は美味しくないという人が理解できません。(～～;))

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～。～)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DEATCHこと福山でした